



やぐら通信

『いそがばまわれ』（チャレンジしよう。経験は宝物）

2022年 なかよし週間（11/14～11/25）

<テーマ>

つながる ひろがる 思いやりの心
～届けよう 一人ひとりにやさしさを～

12月10日の人権デー（12月4日～10日の人権週間）を前に本校でも人権に関する取組をしました。11月14日～25日の期間、やさしさ委員会が中心に取り組んだ「なかよし週間」の取組を紹介します。学校全体の取組として、①やさしさ委員会からの放送、②朝の時間を活用して、人権に関する内容での各学年からの発表、③学校長からの話、④やさしさの森プロジェクトを行いました。



上の写真は、各学級で優しくたり、優しくされたりしてうれしかったことや温かい気持ちになったこと、みんなが気持ちよく過ごすためにできたことなど、思いやりにつながることをカードに書き、やさしさの木に貼りました。全校でやさしさの木を集めてやさしさの森をつくりました。いくつかのカードを紹介します。

🌸 「みんなのためにトイレのスリッパをそろえている人がいました。だから自分もスリッパを自分からそろえようと思います。」

🌻 「二人組や三人組など体育のときにぼくは勇気がなくてさそえへんかった時、誰かが誘ってくれてうれしかった。ありがとう。」

🌸 「私が優しくしてもらったのは、何して遊ぼうか迷っていた時、「一緒に遊ぼう」と誘ってくれました。その言葉がすごくうれしかったです。」

🌸 「配り物をしている時に、クラスの子が「手伝うよ」と声をかけてくれたのでうれしかったです。みんなが気持ちよく過ごすためにできたことはゆずり合いです。」

🌸 「友だちに自分の将来の夢をいったら「いいね。むいてるよ!」と言ってくれてとてもうれしい気持ちになったこと。」

🌸 「ものを拾ってもらったとき『ごめん。ありがとう。』と謝る言葉と感謝の言葉が言えたこと。」

11月25日のなかよし週間の最終日は校長からの話です。私自身の今の気持ちを話しました。『なかよし週間最後の日になりました。どの学年もとても大切なことを発表してくれました。やさしさの森のメッセージはどの優しさも素敵です。矢倉小学校では、いつもどこかでやさしさの花が咲いています。もっともっとやさしさの輪が広がるといいなと思います。



今日は、今私が思っていることを話します。私が矢倉小学校に来て最初は、知らないことやわからないことがいっぱいとても不安でした。でも、登下校のあいさつや、毎日校舎を回って教室へ入って声をかけたり、お話ししたり、「先生！ 昨日ね…」 「先生！ ……」と話しかけてくれることがとてもうれしいです。長休みや昼休みに校長室に来てくれる人といろいろなお話をします。先生方も授業中はなかなかお話しできないのですが、私自身の事やお話する先生の事、児童の皆さんのことを話します。いろいろな人に私のことを知ってもらって、たくさんお話しして、とても心が落ち着きます。最初の不安はどんどん減ってきました。矢倉小学校で安心して過ごすことができます。今、私の周りにはお話を聞いてくれる仲間、困った時に相談できる仲間がいてくれるからだと思います。一人じゃないなと感じます。

児童の皆さんにも先生方にも矢倉小学校が安心して過ごせる場所になってほしいと思います。

私がそうしてもらったように、私は、誰かの困っていることやしんどいなと思っていること、楽しかったことや嬉しかったことを聞ける人になりたいです。

皆さんが困ったときは、一人で悩まないで一緒にできることを考えたいと思います。嬉しいことがあったときは、一緒に喜びたいと思います。

皆さんの周りにも、きっと一緒に考えてくれたり、一緒に喜んでくれる仲間はいますよ。

大丈夫です。矢倉小学校が安心して過ごせる場所になるよう仲間になりましょう。

そして、矢倉小学校の仲間が土となり水となり栄養となり光となってくれます。

あなたにしか咲かすことのできない、自分らしい花を咲かせましょう。』 校長 石井 千鳥

お知らせ (4・5・6年生対象)

滋賀県教育委員会主催の「学びの基礎ステップアップ事業」といたしまして、12月8日(木)に、「学びの基礎チャレンジ」(国語・算数)を行います。結果については、3学期に観点別の結果をお知らせし、今後の学習の指標に役立たせていきたいと思っています。

